

第2回 特定地域WG2-1(富山市地域) ワーキンググループ 開催報告

● 開催概要

開催日時：2022年11月11日（金）13:30～15:00

開催場所：富山市役所+オンライン（ZOOM）

● 開催内容

第1回の振り返り

<概要>

- ・ワーキング登録者数57名
- ・登録者・当日参加者の約7割が民間事業者
- ・関心のあるテーマはPPP/PFIへのPFS/SIB導入、健康寿命延伸、移住定住施策

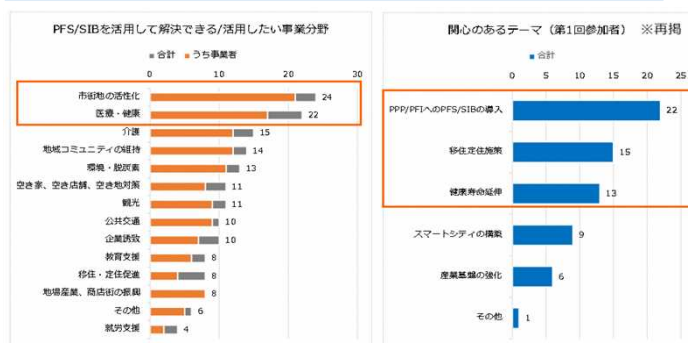


当日の富山市役所会場の様子

テーマ選定の考え方

<テーマ選定の視点>

- ・視点①：参加者のニーズ
- ・視点②：庁内のニーズ
- ・視点③：評価指標・測定方法



自治体が事業アイデアを募集するテーマの説明・意見交換

<説明概要>

1. 市民のウェルビーイング向上に向けたプログラムの提供
2. 遊休不動産等を活用した事業者誘致・事業創出
3. 空き家利活用、流通促進

※各テーマの現事業、提案を受けたい事項については、全体進行資料参照



富山市によるテーマ説明の様子

● 第2回開催のまとめ

- ・第1回の参加者の内訳や関心分野について振り返りを行い、その後、富山市が本ワーキンググループで事業アイデアの提案を求める3つのテーマについて、現事業を所管する4課から発表を行った。
- ・意見交換では、現事業の詳細や課題、成果目標の目途などについて、多くの質問があった。成果等については、すべてを市が決めた上で提案を受けるのではなく、アイデア提案を受けた上で、市と事業者と一緒に検討していきたい旨の回答があった。
- ・11月25日（金）まで、質問・提案相談の受付を行うこととした。

● 主な質疑・ご意見

① 市民のウェルビーイング向上に向けたプログラムの提供

主な質問・ご意見	回答
とやまし元気づくりプロジェクトの参加者数はどの程度であったか。	令和元年度に実施した実証事業では、週1回のプログラムは全71回の開催で延べ1,148人、月1回のイベントは5回の開催で延べ6,111人の参加があった。
現事業の課題と「参加者の主体性がある状態」をもう少し具体的にご教示いただきたい。	富山市のウェルビーイングの理解促進と市民の主体的な活動の広がりが見られていないという点が課題。 受講生がウェルビーイングを向上するプログラムを主体的に企画・主催して実施する状態を「主体性がある状態」と考えている。
「元気力チェック」による評価結果の数値上昇が課題か。	ウェルビーイングの定義をどうするかによっては、「元気力チェック」を使う必要はなく、ウェルビーイングの定義から意見交換したい。

② 遊休不動産等を活用した事業者誘致・事業創出

主な質問・ご意見	回答
物件の掘り起こしとマッチングの2業務があるが、課題は何か。成約数の目標はあるか。	空き店舗を掘り起こすことで、成約増につながるのではないかと考えており、課題は物件の掘り起こしである。 具体的な目標値は現時点ではない。
現状はどのようにして物件情報を収集しているのか。	委託により、年2回の空きオフィス調査を実施して情報収集している。
提案事業者と商店街の橋渡しを市がどのように行うのか。	商店街の方向性について、商店街の考えを尊重しながら、提案事業者と商店街、市の三者が一緒になり検討することを想定している。
既に対象となる商店街があるのか。	具体的に対象としている商店街があるわけではない。今後の自治体における商店街活性化支援への提案についても受け付けたい。

③ 空き家利活用、流通促進

主な質問・ご意見	回答
既存の補助制度があるか。補助制度における課題があるのか。	改修・除却への補助事業があるが、改修後・除却後の用途に制限がある。いずれも公益的な用途のものしか対象にならず、事業が限られる点が課題。
空き家バンクの登録物件は、民間の流通網にのる物件と比較してどのような特徴があるか。	空き家バンク登録物件は、①媒介事業者に空き家バンクを活用するモチベーションがあるもの、②低廉な物件、③県外居住者の物件。
物件をリノベーションした上で他用途での活用検討は可能か。	可能。今後は、どうやって売るか、空き家の活用まで提案して流通させていくアイデアがないといけない。

④ 本日の資料について

主な質問・ご意見	回答
本日の資料・録画データは共有されるのか。	投影資料については、後日「PFS官民連携プラットフォーム」のホームページにて公開する。 当日いただいた質疑への回答は、本ワーキンググループ参加者に共有する。